

まいづる 市議会だより

Maizuru City Council News Letter

- 令和7年度一般会計予算を可決
- 令和6年度一般会計補正予算を可決
- 議会報告会を開催しました

No. 195

令和7年(2025)
5月17日

主
な
内
容

3月定例会予算の概要	2
常任委員会の審査報告	4
各会派討論の内容	6
議案の採決結果	8
代表質問	10
一般質問	12
6月定例会の予定	18
議会報告会	19
議会学習会	20

まちの未来を担う子どもたち
議会をもっと身近に



岡田小学校 6年生



由良川小学校 6年生



中筋小学校 6年1組



中筋小学校 6年3組



中筋小学校 6年2組



中筋小学校 6年4組



池内・高野小学校 6年生

議会だよりはこのコードから
ご覧いただけます。



令和7年度当初予算690億8188万円 未来に希望がもてる活力あるまち・舞鶴の実現 ～3つの基本施策～

令和7年
3月定例会
のあらまし

予算の概要

委員会審査

討論

採決結果

代表質問

一般質問

定例会予定

議会報告会

議会学習会

議会PR

- 西消防署の移転整備や中央図書館建設に係る実施設計をはじめとする次世代に引き継ぐ拠点施設の整備など大型事業が計画され、市制施行以来、過去最高額となった令和7年度一般会計予算404億9092万円を可決
- 給食費の高騰対策や福祉事業所への負担軽減対策をはじめとする物価高騰対策、地域経済を下支えするまいづるプレミアム商品券2025発行事業などのほか、重要文化財赤れんが倉庫6号棟の保存整備など、令和6年度一般会計補正予算を可決
- 企業版ふるさと納税を活用する「舞鶴市ふるさと応援基金条例の一部を改正する条例制定」や、国民健康保険法施行令の改正に伴い所要の改正を行う「舞鶴市国民健康保険条例の一部を改正する条例制定」などを可決

令和7年3月定例会は、2月25日から3月27日までの31日間開催されました。市長から提案された議案は、令和7年度予算9件、令和6年度補正予算3件、条例19件、その他4件の35議案、議会提案の「舞鶴市議会委員会条例の一部を改正する条例制定」「舞鶴市議会の個人情報の保護に関する条例の一部を改正する条例制定」と合わせて37件を審議した結果、全議案を原案のとおり可決・同意しました。加えて、審議した請願1件を不採択としました。

提案された主な施策など

1 希望がもてるまちづくり

不妊・不育治療に要する経済的負担を軽減するため、助成制度の補助率及び上限額の見直しを実施する。

中総合会館の1階ロビーに自学スペース、Wi-Fi環境を新設し、こどもの居場所、図書館分館として機能の強化充実を図り、こども・若者の居場所づくり・体験活動の取り組みなどの活動に対する支援を拡大する。

中学校の給食費無償化を通年で実施するとともに、3学期からは小学校でも無償化を実施することに加え、学校のトイレ環境の改善では、重点事業に位置付け洋式化率80%を目標に掲げスピード感を持って強力に推進する。



こどもの居場所、図書館分館機能強化が図られる中総合会館1階ロビー

2 安全で安心なまちづくり

孤立する恐れの高い地域に対し、住民避難や物資輸送を実現するため、田井地区にヘリコプター臨時離着陸場を整備するための測量・設計を実施する。

災害に強い安定した水の供給を図るため、水源である由良川の塩水遡上対策として、取水口上流移転に向け詳細設計を行うことに加え、物価高騰の影響を受けた市民や事業者を支援するため本市では初めて、全世帯・全民間事業所を対象に水道料金の基本料金を2カ月分減免する。

年齢階層別の基準値を用いた「前立腺がん検診」を新たに実施し、がんによる死亡率の減少を図る。



安定した水の供給を担う取水場（二箇取水場）

3 魅力あるまちづくり

施設の老朽化が進んでいる舞鶴親海公園について、来園者が安全・安心に釣りを楽しんでもらえるよう海釣り護岸の改修、リニューアルを行うことに加え、文化公園体育館では、レスリング場、剣道場、柔道場への空調設備導入をはじめ、スポーツ施設の改修や高機能化を図る。

中央図書館基本設計に基づき、図書館再編の司令塔となる中央図書館の実施設計を行うとともに、図書館の利用拡大や機能向上、サービスの強化などに向けた取り組みを展開していく。

国土交通省が進める「プロジェクト プラトール」に参画し、まちづくりのDX（デジタル・トランスフォーメーション）に着手する。また、公共ライドシェア meemo（ミーモ）に新たなアプリを導入することで、地域における移動手段の定着と利便性の向上を目指す。

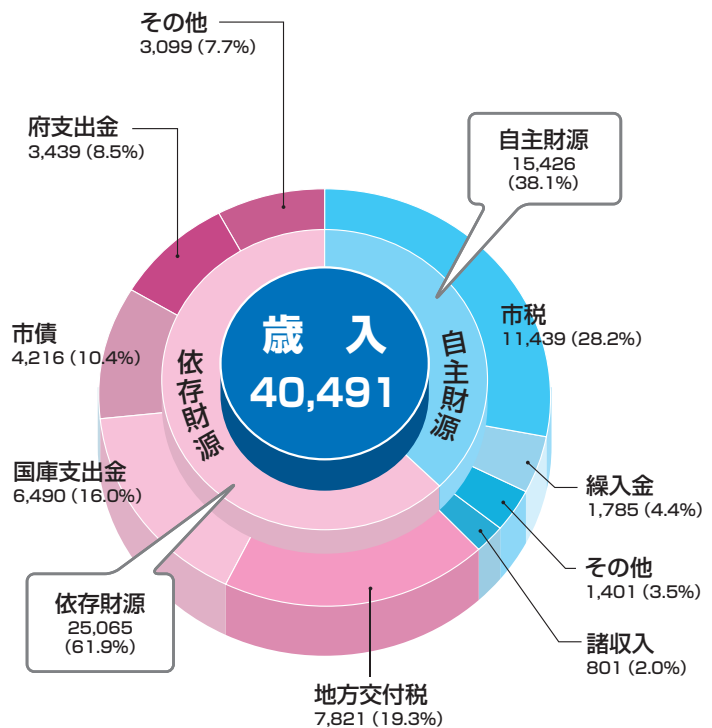
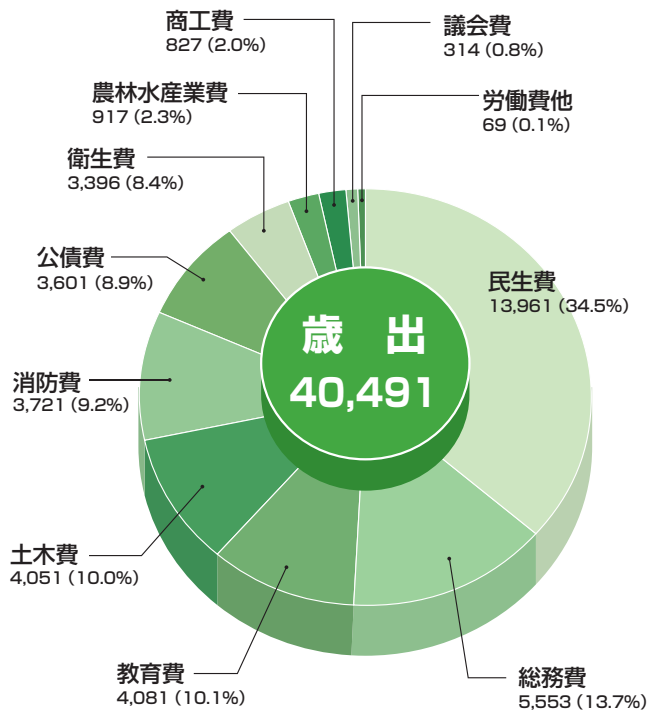


図書館再編の司令塔となる中央図書館

（仮称）舞鶴市立中央図書館 外観イメージ
提供：株式会社遠藤克彦建築研究所（基本設計時点）

一般会計予算

単位：百万円



まちづくりに係る主な事業

●希望が持てるまちづくり

(拡大) 学校給食費無償化事業費 (小学校・中学校)	2億1130万円
こども・若者の居場所づくり推進に係る取組	1億8369万円
(拡大) 施設整備事業費・校舎等改修事業費	1億1616万円
(拡大) シビック・プライド向上推進事業費 (舞鶴市SDGs未来都市推進事業費)	1164万円
(拡大) 不妊・不育治療給付費	1037万円

●安全で安心なまちづくり

(拡大) 緊急時避難円滑事業費	6700万円
(新規) 高潮対策事業費	4420万円
(拡大) 重層の支援体制整備事業費 (うち他機関協働、参加支援、アウトリーチ支援)	3212万円
(継続) 医療機能最適化検討事業費	2700万円
(新規) ヘリコプター臨時離着陸場整備事業費	2432万円

●魅力あるまちづくり

(拡大) 施設整備事業費 (文化公園体育館整備工事ほか)	1億894万円
(新規) 中央図書館整備事業費	1億6100万円
(新規) 都市空間情報デジタル基盤構築支援事業費	5950万円
(拡大) 京都舞鶴港振興事業費	7985万円
(拡大) 漁村活性化センター整備事業費	2760万円

特別会計予算

会計区分	7年度	6年度	伸び率
国民健康保険事業会計	71億1284万円	73億5813万円	△3.3%
貯木事業会計	230万円	200万円	15.0%
駐車場事業会計	3653万円	3511万円	4.0%
介護保険事業会計	88億8641万円	89億6314万円	△0.9%
保険事業勘定	88億7836万円	89億5592万円	△0.9%
介護サービス事業勘定	805万円	722万円	11.5%
後期高齢者医療事業会計	17億170万円	16億3772万円	3.9%
公営企業会計	108億5118万円	113億1056万円	△4.1%
水道事業会計	33億1250万円	33億6240万円	△1.5%
下水道事業会計	62億9770万円	68億470万円	△7.5%
病院事業会計	12億4098万円	11億4346万円	8.5%
合 計	295億9096万円	293億666万円	△2.4%

常任委員会の審査報告

本会議において付託された議案は、市民文教委員会3件、産業建設委員会6件、福祉健康委員会4件、総務消防委員会9件、予算決算委員会12件であり、それぞれの委員会で審査しました。

予算決算委員会の
主な審査内容

令和6年度一般会計
補正予算(第7号)

北近畿タンゴ鉄道
支援事業費補助金

Q 今後の特急列車の
更新予定は

A 令和6年12月に認定された鉄道事業再構築実施計画に基づき、令和7年度に設計業務を行い、令和8年度以降「丹後の海」として運行している特急列車を2年ごとに2両ずつ更新する予定である。

給食費高騰対策事業費

Q 令和5年度の給食費補助額が1980円だったのに対し、令和6年度は千円となった根拠は

A 令和5年度は、令和3年4月分と令和5年12月分の物価上昇率から算出して補助額を1980円としたが、令和6年度については、

予算の概要

委員会の審査

討論

採決結果

代表質問

一般質問

定例会合予定

議会報告会

議会学習会

議会PR

令和6年4月から11月の上昇率を用いて、令和6年度1年間の上昇率を見込んで補助額を千円としたものである。

Q 0歳から2歳児に補助がないのは

A 0歳から2歳の給食費は保育料に含まれているが、令和元年度の保育料無償化制度により、3歳から5歳については保育料は無償、給食費は実費負担となっているため、給食費を実費負担する3歳以上の保護者に対し支援を行うものである。

まいづるプレミアム商品券2025発行事業費

Q どのような販売方法を予定しているのか

A 前回の令和5年度に実施した際と同様に、紙の商品券を東西の商店街や体育館など、お求めいただきやすい場所で開催していきたいと考えている。

令和7年度
一般会計予算

ヘリコプター臨時
離着陸場整備事業費

Q 工事の完成イメージは

A 田井小学校跡地を活用し、アスファルト舗装を基本としたヘリコプターが全面離着陸できる約1600㎡の平面の離着陸場で、工作物等も含めると全体で約3000㎡の予定である。これから設計を進めていく中で、地盤改良や防風ネットの設置などが必要になる可能性もあるが、近隣住民に迷惑をかけないよう事業を進めていく。

人事管理経費
(うち懇話会開催経費分)

Q 事業の目的は

A 職員を取り巻く環境が市民ニーズの多様化、行政課題の複雑化、急速なデジタル化などにより大きく変化しており、時代の変化に柔軟に対応できる職員の育成や有能な職員の確保が重要である。そこ

で、専門的な知見と客観的な根拠に基づき、人事政策について議論するため、外部有識者で構成する「人事政策懇話会」を設置する。

庁舎改修事業費

Q 防犯カメラ設置による市民への影響は

A 防犯等の庁舎の安全管理やカスタマーハラスメント対策の観点から設置するもので、来庁される市民の安全安心にも資することから、しっかりと広報をすることで市民の理解を得ていく。

Q 相談室内の相談の場合プライバシーは配慮されるのか

A 相談内容がプライバシーに深く関わる内容になることも想定されることから、柔軟に対応する。

Q 録画した映像の保存期間は

A 舞鶴市防犯カメラの設置及び運用に関する規程に定める保存期間に基づき、原則1月以内とする。

海外引揚開始80年・世界記憶遺産登録10周年記念事業費

Q 市外開催の取り組み内容と広報手段は

A 東京の博物館、資料館や都市圏の大学との連携による展示会の開催等を考えており、都市圏での情報発信も重点的に行う予定。

Q 市内の子どもたちにも伝えるためのアプローチは

A 周年行事となる平和祈念式典には、次世代を担う学生を含めてたくさん来場いただけるように、教育機関とも連携しながら取り組んでいきたい。

(再掲)予防接種事業
(うち帯状疱疹予防接種分)

Q 対象となる方は

A 65歳の方。経過措置として、5年間は65歳を超える5歳刻みの節目年齢の方も対象となる。带状疱疹ワクチンは従前から任意接種が可能であり、全額自

己負担になるが、引き続き、節目年齢以外の方でも任意接種が可能。

医療機能最適化
検討事業費

Q 具体的な検討を進めていくとしているが、どのようなシミュレーションを行うのか

A 医療機能最適化検討会議を通じて、今後目指すべき医療提供体制として想定される5つの再編・統合パターンをまとめた。質の高い医療や人材を確保する上では、機能はまとまっている方がよいため、まずは、どこに、どれだけの機能を集めることができるのかという観点から検討を行う。最終的には5つのパターンに即したシミュレーションを通じて、質の高い医療の確保、人材の確保、経営の持続性、これら3つの観点から、最適なパターンを見出していきたい。

本会議において付託された議案は、市民文教委員会3件、産業建設委員会6件、福祉健康委員会4件、総務消防委員会9件、予算決算委員会12件であり、それぞれの委員会でも審査しました。

常任委員会の審査報告

誰もが働きやすい職場づくり推進事業費

Q 誰もが働きやすい職場づくり推進補助金は、どのような制度を予定しているのか

A 施設整備などのハード面の補助金は、50万円を上限に2分の1補助、就業規則の見直しなどのソフト面の補助金は、20万円を上限に2分の1補助を行う想定。

クロマグロPR事業費

Q ブランド化に向けて、規格や品質の基準が必要となるが、どのように考えているのか

A 京都府漁業協同組合や仲買人等と十分に検討していきたい。

Q どのようなPRを予定しているのか

A 高い効果が期待できるSNSを通じたPRのほか、ポスターやチラシなどによる京阪神の消費者へのPRなどを予定している。

こども・若者の居場所づくり支援事業費補助金

Q こどもの居場所づくりに関してどのようなケースに活用できるのか

A スポーツやキャンプ活動、音楽等の体験、学習支援などを実施する団体への支援を想定している。

Q 申し込みはどのようにになるのか

A 公募による申し込みで、こども・若者支援会議の部会で審査を経た後、補助金の交付を決定する。

Q 現在の補助金と同様、継続利用は3年が限度となるのか

A 事業は単発でもよいが、継続する場合は、補助金は年度ごとになるため、翌年度以降も申請が必要となる。現在の補助金は3年を限度としているが、3年後に事業評価を行い、必要なものについては、4年目以降も継続できるようにと考えている。

令和7年度下水道事業会計予算

Q 高野川の事業関連携に関する京都府との協議はどのようなになっているか

A 京都府とは協議を重ねており、令和7年度まで事業関連携事業に取り組むこととしている。

Q 令和7年度以降も事業関連携事業が延長されることはあるのか

A この事業は5年間を基本としており、既に2年間延長されていることから、令和7年度で終了する。

令和7年度国民健康保険事業会計予算

Q 令和7年4月1日から舞鶴市国民健康保険料の滞納整理業務が京都地方税機構に移管されるが、市と税機構との連携は。これまで市が行ってきた滞納者への対応はどうなるのか

A 滞納者の方が市に相談に来られた際には、生活支援センターも紹介しながら、今後も寄り添った対応をしていきたいと考えている。また、これまでの経緯や対応について、税機構へしっかりと引き継ぐ。

産業建設委員会

ふるさと応援基金条例の一部改正

企業版ふるさと納税の利用増加に伴い、今後、寄附金を本市のまちづくり施策に有効活用するため、基金を用いて行う事業を追加するもの。

福祉健康委員会

舞鶴市地域医療確保奨学金等の貸与に関する条例の一部改正

本奨学金は奨学金受給期間と同じ期間、市内公的病院等で医師として勤務することで返還免除となる。今までは医師免許取得後の2年間の臨床研修、3年間の専門研修を終えると奨学金の返済義務が生じていたが、診療科によっては専門研修期間が5年の科もあるため、いずれの診療科を選んでも専門研修終了後に返済していただけに、実質的な返

常任委員会の主な審査内容

市民文教委員会

舞鶴市子ども・子育て支援法に基づく過料に関する条例の一部改正

子ども・子育て支援法の改正により妊婦のための支援給付の制度

総務消防委員会

舞鶴市職員の配偶者同行休業に関する条例制定

職員の配偶者が海外赴任等をする場合で、職員が配偶者とともに外国で生活することを希望するときは、その身分を保有したまま3年を限度に休業することができる制度を創設するもの。なお、休業期間中の給与は支給しない。



討 論

令和7年3月27日の最終本会議において、提案された議案に対して討論を行いました。

予算の概要

委員会審査

討 論

採決結果

代表質問

一般質問

定例会予定

議会報告会

議会学習会

議会PR

討論 不要不急の開発事業から暮らし最優先に

日本共産党議員団
小西洋一

介護事業に市の独自支援を

育最優先に切り替えることを求め反対する。

30議案に賛成し、3議案に反対する。

一般会計予算では、全世帯・事業所の上水道の基本料金を二カ月分免除、小学校給食費の無償化、学校トイレの洋式化などの事業は、会派として要望してきた事業であり評価する。

一方、約3億円の重要文化財赤れんが倉庫整備事業をはじめ、大阪・関西万博連携事業、山陰新幹線誘致事業が予算化されている。物価高で厳しい市民生活の中、不要不急の開発事業などは中止し、暮らし、福祉、教



3棟で総額40億円超の赤れんがが保存修理

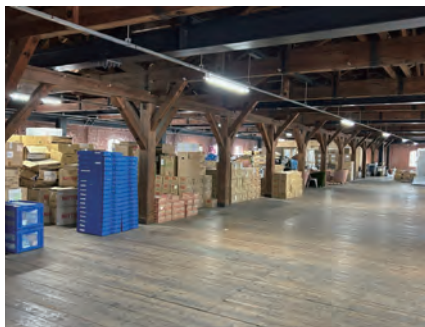
討論 スピード感ある施策の推進に期待する

自民党鶴岡クラブ議員団
川口孝文

全議案に賛成する。

一般会計予算は、市制施行以来の最高予算規模となったが、必要な施策のため積み上げられた結果と理解する。学校給食費無償化事業では、ふるさと応援寄附金のみでなく、特定防衛施設周辺整備交付金や一般財源も活用し、私どもが訴えてきた「安定した持続可能な財源構成」を図られた点について一定評価する。予算説明で市長が訴えられた具現化、施策化を、スピード感を持つ

て実行に移すこと、「市民とともに築き上げる姿勢」を持ち続けられることに期待する。一般会計補正予算（第7号）では、国の総合経済対策に基づき、給食費の高騰対策や福祉事業所への負担軽減対策をはじめ、まいづるプレミアム商品券の発行や、避難所の生活環境改善に向けた備蓄物資配備拡充などが計上されている。備蓄物資配備の拡充においては、女性や弱者にやさしい視点からの物品の選定などに取り組みされることを申し添え、賛成とする。



避難所備蓄物資の一部

討論 物価高騰支援と予算規模の拡大を評価

公明党議員団
上羽和幸

全議案に賛成する。

一般会計補正予算は、物価高騰で厳しい環境にある各所に補助金などで支援するものである。また、中学校体育館2校に冷暖房空調設備を設置するが、国の手厚い補助制度があるこの機会に全校に空調整備を願うものである。

一般会計予算は、西消防署の建設、子ども・子育て加速化プランによる児童手当や教育・保育の給付を増額するものである。図書館整備は実施設計が始まり、小学校給食費無償化は3学期からだが、



冷暖房の空調設置が望まれる体育館

令和8年度は国により実施される。個人市民税の増額見込みは、約1億7600万円为好調に見えるが、市民生活は物価高で困窮し人口減少も課題である。一方、予算規模が大きくなっているのは、物や人が動いている証でもあり評価する。医療機能最適化検討会議は、地域医療の課題解決に向け前進できたと評価する。

下水道事業会計予算では、静溪ポンプ場は対応を整理し、一日も早く再整備と浸水対策の完了を求める。

令和7年3月27日の最終本会議において、提案された議案に対して討論を行いました。 討論 FMまいづるに出演紹介

討論 学校給食費無償化事業 持続可能な財源で

新政クラブ議員団
今西 克己



全議案に賛成する。

一般会計予算では、学校給食費無償化事業が計上されている。令和6年度から先行実施している中学校7校は、通年実施、小学校では、市内18校を対象に令和7年度3学期から実施するものである。令和6年3月定例会において、財源構成がふるさと応援寄附金のみであることに對して、その原資となる財源は、他の財源も組み合わせた安定した恒久的財源とすることを求め、

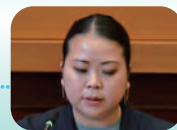


適正な財政運営が求められる学校給食

附帯決議を提出し、議会において議決した経緯がある。附帯決議に示す将来に渡って持続可能な事業とするため、安定財源の確保に努めるとともに、執行予算に恒久的財源を含めること、さらに、幅広い市民理解を得るための取り組みや広報に努めること、児童生徒に対し、食に関する正しい理解と事業目的の教育を行うなど4点を要請している。学校給食費無償化事業は、他の事業に影響を与えることなく、適正な財政運営に努めることを求め、賛成する。

討論 魅力あるまちの 取り組みを評価する

超党・市民ファースト議員団
福本 明日香



全議案に賛成する。

一般会計予算では、支出額404億9092万円で過去最高額である。主な事業は、田井地域におけるヘリコプターの臨時離着陸場整備や引揚の史実の継承に取り組む予算、重層的支援体制整備事業など本市を支える予算

はいずれも必要不可欠である。小・中学校のトイレの洋式化では、3年後の洋式化率を全国平均に、最終目標として80%を目指すもので、子どもの学習環境改善に資するものと評価する。学校給食

費無償化事業では、中学校の給食費無償化と小学校では3学期から無償化になるというところで、特定防衛施設周辺整備調整交付金やふるさと応援寄附金、一般財源の3種類の財源を活用と積立を同時に行い、持続可能な事業実施に向けた財源確保を行ったものと高く評価する。

全園への補助を評価する

一般会計補正予算では、認可保育園など全28施設の3〜5歳の給食費を一人あたり月千円を補助し、値上げに耐えてきた園への補助を評価する。



無償化が期待される小学校給食

FMまいづるに 出演しています

舞鶴市議会では、FMまいづるの「ななこちゃったラジオ」に議員が出演しています。

定例会の報告や市議会の進めている取り組みなど、議会に関するいろいろなことをお話ししています。

今後の放送予定
5月30日(金)

放送
テーマ

「議会報告会について」
「議会報編集部会視察報告について」など

これまでの
主な放送テーマ

「定例会の議案紹介、審査報告」
「市民と議会のわがまちトーク」
「議会の情報発信の取り組み」
「広報会議」「議会運営委員会」
「議員研修会」「請願・陳情」
「議会学習会」
「議会における防災訓練」 など

次回の放送予定やこれまでの放送内容について詳しくは、ホームページからご覧いただけます。



過去の放送内容も
お聴きいただけます。



令和7年3月定例会での議案採決の結果は次のとおりです。この採決は、「押しボタン式投票」で行ったものです。
この結果は、舞鶴市議会のホームページでも公表しております。



全会一致で可決した条例議案

- 刑法等の一部を改正する法律の施行に伴う関係条例の整理に関する条例制定について
- 舞鶴市職員の配偶者同行休業に関する条例制定について
- 舞鶴市職員の給与に関する条例等の一部を改正する条例制定について
- 舞鶴市職員の退職手当に関する条例の一部を改正する条例制定について
- 舞鶴市非常勤消防団員に係る退職報償金の支給に関する条例の一部を改正する条例制定について
- 舞鶴市の市長及び副市長の給与に関する条例及び舞鶴市教育長の給与等に関する条例の一部を改正する条例制定について
- 舞鶴市公共下水道条例の一部を改正する条例制定について
- 舞鶴市ふるさと応援基金条例の一部を改正する条例制定について
- 舞鶴市移動等円滑化のために必要な特定公園施設の設置に関する基準を定める条例の一部を改正する条例制定について
- 舞鶴市水道事業の布設工事監督者の配置基準及び資格基準並びに水道技術管理者の資格基準に関する条例の一部を改正する条例の一部を改正する条例制定について
- 舞鶴市国民健康保険条例の一部を改正する条例制定について
- 舞鶴市地域医療確保奨学金等の貸与に関する条例の一部を改正する条例制定について
- 舞鶴市指定地域密着型サービスの事業の人員、設備及び運営に関する基準等を定める条例の一部を改正する条例制定について
- 舞鶴市地域包括支援センターの包括的支援事業の実施に係る基準を定める条例の一部を改正する条例制定について
- 舞鶴市家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例制定について
- 舞鶴市特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例制定について
- 舞鶴市子ども・子育て支援法に基づく過料に関する条例の一部を改正する条例制定について
- 舞鶴市消防団員等公務災害補償条例の一部を改正する条例制定について
- 職員の勤務時間、休暇等に関する条例等の一部を改正する条例制定について

【会派】 鶴政…自民党鶴政クラブ議員団、新政…新政クラブ議員団、超党…超党・市民ファースト議員団、
公明…公明党議員団、共産…日本共産党議員団 ☆舞鶴市議会の議員定数は25人です。

川口孝文	肝付隆治	谷川眞司	水嶋一明	南正弘	今西克己	田畑篤子	野瀬貴則	眞下隆史	眞下弘明	山本治兵衛	高橋秀策	仲井玲子	西村正之	廣瀬昇	福本明日香	上羽和幸	小谷繁雄	杉島久敏	松田弘幸	伊田悦子	小杉悦子	小西洋一	議決をした日
鶴政	鶴政	鶴政	鶴政	鶴政	新政	新政	新政	新政	新政	新政	超党	超党	超党	超党	超党	公明	公明	公明	公明	共産	共産	共産	
○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	3月27日
○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	3月27日
○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	3月27日
×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○	○	○	○	○	×	×	×	×	○	○	○	3月27日

監査委員の選任

令和7年3月27日の本会議で次の監査委員を選任することに同意しました。

新任：岡 野 昌 和 氏

予算の概要

委員会審査

討論

採決結果

代表質問

一般質問

定例会予定

議会報告会

議会学習会

議会PR

議案の採決結果

(令和7年3月定例会) 会期:2月25日～3月27日

全会一致で可決した予算議案

- 令和7年度舞鶴市水道事業会計予算
- 令和7年度舞鶴市下水道事業会計予算
- 令和7年度舞鶴市病院事業会計予算
- 令和7年度舞鶴市貯木事業会計予算
- 令和7年度舞鶴市駐車場事業会計予算
- 令和7年度舞鶴市後期高齢者医療事業会計予算
- 令和6年度舞鶴市一般会計補正予算(第7号)
- 令和6年度舞鶴市下水道事業会計補正予算(第2号)
- 令和6年度舞鶴市駐車場事業会計補正予算(第1号)



全会一致で可決したその他の議案

- 工事請負契約の変更について(西舞鶴駅西口駅前広場整備工事)
- 辺地に係る公共的施設総合整備計画の変更について
- 市道路線の認定及び廃止について

全会一致で可決した人事議案

- 監査委員の選任について

全会一致で可決した議会提出議案

- 舞鶴市議会委員会条例の一部を改正する条例制定について
- 舞鶴市議会の個人情報の保護に関する条例の一部を改正する条例制定について

賛否が分かれた議案

【議決結果】可…可決、修…修正可決、否…否決、同…同意、不同…不同意、承…承認、認…認定、可認…認定及び可決、採…採択、不採…不採択

【賛否】○…賛成、×…反対、欠…欠席、退…退席、除…除斥、棄…棄権

議員名等(会派内は五十音順) 議案名等		出席者数	投票者総数	賛成	反対	棄権	議決結果	上野修身	尾関善之
								鶴政	鶴政
市長提出議案	令和7年度舞鶴市一般会計予算	24	24	21	3	0	可	○	○
	令和7年度舞鶴市国民健康保険事業会計予算	24	24	21	3	0	可	○	○
	令和7年度舞鶴市介護保険事業会計予算	24	24	21	3	0	可	○	○
請願	北陸新幹線の小浜・京都ルートは撤回すべきであるとの決議を求める請願	24	0	8	16	0	不採	×	×



令和7年3月6日に本会議を開き、5人が代表質問を行いました。
質問事項は次のとおりです。

代表質問

令和7年 舞鶴市議会3月定例会代表質問

令和7年3月6日

順番	質問方式	会派名及び氏名	質問事項	
1	一問一答	公明党議員団 上羽 和幸	1 こどもまんなか社会の実現について	2 高齢者支援について
2	一問一答	自民党鶴政クラブ議員団 川口 孝文	1 市長の今後の市政運営について 3 GIGAスクール構想の進め方について	2 図書館基本計画の進め方について
3	一問一答	新政クラブ議員団 田畑 篤子	1 市長の政治姿勢について 3 公共施設の在り方について	2 地域医療構想と市民病院について
4	一問一答	日本共産党議員団 小杉 悦子	1 地域医療の確保に、市の公的責任を果たすことについて	2 まちづくりの根幹に関わる平和、防衛問題について
5	2分割	超党・市民ファースト議員団 仲井 玲子	1 市民が幸せになる観光戦略について	2 市長が思い描く舞鶴市のグランドデザインについて

※一問一答…質問項目を一問ごとに質問し、その都度答弁を求める質問の方式
※2分割…質問項目を分野ごとに2回に分けて質問し、その都度答弁を求める質問の方式
※質問事項のうち、各議員が記述の主な質問事項以外の詳細は、ホームページをご覧ください。
※本会議については、YouTubeで動画配信を行っておりますので、ホームページをご覧ください。

舞鶴市議会

検索



介護従事者の働きやすい
職場環境を実現

質問 介護人材の不足は深刻な状況である。人材確保には、働きやすい職場環境が必要で、カスタマーハラスメントも課題とされており、対策を行うべきでは。また、最も必要なのは処遇改善で、国の介護報酬の引き上げが先決だが、自治体もできる支援を行ってはどうか。

答弁 カスタマーハラスメントは、事業主に相談支援体制や対応マニュアルの作成を推奨されており、事業所で対策が講じられてい

質問 本市の終活支援は、家族に伝えることが前提の支援であり、家族がいない世帯では事情が異なる。単身者が主流の社会に変わってきており、家族に代わって高齢者の終盤を支える支援をするべきではないか。

質問 本市の終活支援は、家族に伝えることが前提の支援であり、家族がいない世帯では事情が異なる。単身者が主流の社会に変わってきており、家族に代わって高齢者の終盤を支える支援をするべきではないか。

代表質問
公明党議員団
上羽 和幸

Q 介護従事者が働きやすい職場環境を積極的に進めている国・府にも要望する

A



答弁 まずは、ご自身で事前に「死後事務委任」などを契約しておくことが大切であり、啓発と、重層的支援で寄り添ったサービスの充実に取り組んでいく。

質問 令和7年2月の図書館を考える市民ワークショップの基調講演において、移動図書館の話があった。瀬戸内市では、専用車両の導入前に既存の公用車を活用した移動図書館サービスが実施されていたとのこと。本市でも先行して小規模なものでも実施し、市民に目に見える形で示すことも、図書館再編の理解促進の一助となるものと考えている。そこで、移動図書館や既存分館のネットワーク構築など、先行実施について、本市の見解を問う。

代表質問
自民党鶴政クラブ議員団
川口 孝文

Q 自動車図書館など先行実施する考えは検討を重ね、やれるものは先行実施する

A



現有車両の試験活用も（イメージ）

ネットワーク構築による図書館機能の強化、自動車図書館の導入・運行による広域サービスの提供について、今後も引き続き、十分な検討を重ねていく。また、市としても、やるものはどんどん先行的に実施をして、市民にこの図書館に関する盛り上げの醸成をつくっていきたいと考えている。

令和7年3月6日に本会議を開き、5人が代表質問を行いました。
質問事項は次のとおりです。

代表質問

代表
質問

新政クラブ 議員団

田畑 篤子



Q 給食費無償化の財源
構成の変更理由は

A 持続的かつ安定した
学校給食とするため



Q 寄附金の見込額の
ずれは

A 目標達成は
厳しいと考える

質問 ふるさと応援
寄附金が伸び悩む中、

昨年、財源について
「心配ない」「安定して
いる」と発言されたこ
とは、結果として誤り
であり、首長として当
時の構想とずれが生じ
てきたのでは。その見
解を問う。

答弁 令和6年度の
目標額は、現状未達成
であり、目標達成は厳
しく、言い訳はできな
いものと認識している。



安定財源の確保が重要

代表
質問

日本共産党議員団

小杉 悦子



Q 病院の再編・統合
目指す医療体制は

A 救急医療の地域完結
700前後の病床数

質問 舞鶴市医療機
能最適化検討会議で急
性期医療の再編・統合
が合意され、協議開始
の基本合意書が締結さ
れたが、①市長の目指
す地域医療とは何か。

②将来の病床数の考え
方について見解を問う。

答弁 ①救急医療の
市内での完結を目指し、
循環器系疾患対応の診
療科、周産期医療や精
神医療の機能を維持・
確保する。②およそ急
性期と回復期が各25
0床、慢性期が110
床、精神90床が本市の



地域医療の充実は
みんなの願い

病床数の考え方である。

Q 平和な港開発に
こそ税金を

A 防衛力の強化は
国の責任

質問 国の舞鶴海上
自衛隊基地の増強計画
では、イージス艦に長
距離ミサイルの配備や、
イージス艦以上の能力
を持つ大型艦の寄港が
可能となり、出撃基地
に変貌する危険がある。

「平和な港の開発に税
金を使うべき」と国に
強く要望すべきでは。

答弁 安全保障環境
が現に厳しさを増す中
で、我が国の平和と安
全を守り抜くための取
り組みであると認識し
ており、防衛力の強化
は国が責任をもって判
断されるもので、市か
ら要望する考えはない。



代表
質問

超党・市民ファースト議員団

仲井 玲子



Q 市民が幸せになる
観光戦略は

A 市民の活躍と観光消費の
拡大につなげる

質問 観光客が来る
ことで、市民の暮らし
が経済的、文化的な豊
かさにつながらなけれ
ばならない。観光消費
につながる広報戦略と
市民の活躍の場の創出
について問う。また、
日本人としての誇り、
生きる力や平和を発信
する舞鶴引揚記念館の
シンボルに「ラゲリ
犬・クロ」の活用が有
効では。見解を問う。

答弁 戦後80年の今
年は、「学生語り部」の
さらなる活躍の場と市
民ガイドの会との連携



舞鶴から平和を発信する
舞鶴引揚記念館

を図る。句を捉えた情
報発信を展開すること
で、来訪者の増加、宿
泊や飲食、土産品購入
等の観光消費の拡大へ
つなげる。クロの感動
の実話は、若い世代に
分かりやすく伝えるコ
ンテンツとして、より
積極的に展開していく。

Q 市長が思い描く
市の構想は

A 市民参加で
課題に取り組む

質問 人口減少、少
子高齢化の中、市長が
思い描くまちの将来像
と課題解決に対する考
えを問う。

答弁 市民が積極的
にまちづくりに参画し、
若者の定着や地域経済
を維持・発展させるこ
とで、高齢者世代を支
える好循環を生み出す。



令和7年3月7日、10日に本会議を開き、18人が一般質問を行いました。
質問事項は次のとおりです。

一般質問

令和7年 舞鶴市議会3月定例会一般質問

令和7年3月7日、10日

順番	質問方式	氏 名	質問事項
1	一問一答	今西 克己	1 宅地造成及び特定盛土等規制法（盛土規制法）の施行について
2	一問一答	谷川 眞司	1 脱炭素社会の実現について 2 浪速橋について 3 東地区中心市街地エリアについて
3	一問一答	伊田 悦子	1 子どもを真ん中にした教育環境の在り方について 2 多様性を認め合い、自分らしく暮らせる取組について 3 中央図書館建設事業の充実について
4	一問一答	廣瀬 昇	1 舞鶴市の医療の在り方について 2 公共交通について 3 人口減少社会での舞鶴市の活性化について
5	一問一答	松田 弘幸	1 社会に開かれた教育実践奨励賞について 2 本市の駐車場について 3 「魅力あるまちづくり」について
6	一問一答	眞下 弘明	1 義務教育でのネットリテラシー教育について 2 西舞鶴駅西口所在の引揚列車見送りの松について
7	一問一答	上野 修身	1 学校給食費無償化（小・中学校）について
8	3分割	小西 洋一	1 市民の暮らしを守る「本市の財政運営」について 2 だれでも安心の「本市社会保障の充実」について 3 本市公共施設とインフラ整備のあり方について
9	一問一答	福本明日香	1 本市の市民サービスの向上とDX推進について 2 学校教育における警報時や災害時の安全対策について 3 災害時における避難所運営について 4 子どもを育てる母親への支援について
10	一括	杉島 久敏	1 災害時に備えた生活用水の確保について 2 個別避難計画について 3 小・中学校の空調整備について
11	一問一答	野瀬 貴則	1 中学校体育館へのエアコン設置について 2 前立腺がん検診の再開について 3 市民の体力測定について
12	一括	水嶋 一明	1 第2次舞鶴市健康増進計画の取組について
13	一括	高橋 秀策	1 企業立地について 2 ふるさと納税について 3 建設業について
14	一括	小谷 繁雄	1 市民窓口サービスと自治体DXについて 2 地域防災支援の推進について
15	一問一答	眞下 隆史	1 舞鶴市の農地課題に関する今後の展望・方向性について
16	一問一答	南 正弘	1 大規模災害について 2 市民からのご意見・要望について
17	一問一答	山本治兵衛	1 令和7年度の予算編成方針について 2 共生社会の構築について 3 職員の働き方改革について
18	一問一答	尾関 善之	1 舞鶴市地域公共交通利用促進について

※一 括…質問項目を一括して質問した後、一括して答弁を求める質問の方式
※3 分 割…質問項目を分野ごとに3回に分けて質問し、その都度答弁を求める質問の方式
※一問一答…質問項目を一問ごとに質問し、その都度答弁を求める質問の方式

※質問事項のうち、各議員が記述の主な質問事項以外の詳細は、ホームページをご覧ください。
※本会議については、YouTubeで動画配信を行っておりますので、ホームページをご覧ください。

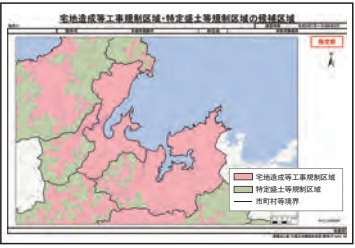
舞鶴市議会 検索



答 弁 盛土規制法では、土地所有者はその土地を常時安全な状態に維持するよう努めなければなら

問。理解を求め周知するか、本市の考えを問う。

質 問 令和4年5月に宅地造成規制法の抜本的な改正により、宅地造成及び特定盛土等規制法が制定され令和5年5月に施行された。改正盛土規制法では、宅地、農地、森林等の土地の用途に関わらず、土石等の一時的な堆積、いわゆる仮置きのような盛土も対象とされ、盛土等が行われた土地を常時安全な状態に維持することが義務化されている。今後、土地所有者にどのように理解を求め周知するか、本市の考えを問う。



舞鶴市の特定盛土規制区域の指定候補区域

らず、知事は土地の所有者、工事施工者等に擁壁等の設置や改造等、災害防止のために必要な勧告ができる。さらに、土地所有者等に盛土の改良や土石の除却を命ずることができる。市では、農地や森林で盛土を行う所有者に対し、農業委員会への農地一時転用届や市への森林伐採届の機会等を通じ、これらの責務を理解いただくよう周知に努める。

一般質問 新クラブ議員団 今西克己

A 不適切な盛土の違法行為の防止対策は土地所有者に対し責務の周知に努める

Q 土地造成規制法の抜本的な改正により、宅地造成及び特定盛土等規制法が制定され令和5年5月に施行された。改正盛土規制法では、宅地、農地、森林等の土地の用途に関わらず、土石等の一時的な堆積、いわゆる仮置きのような盛土も対象とされ、盛土等が行われた土地を常時安全な状態に維持することが義務化されている。今後、土地所有者にどのように理解を求め周知するか、本市の考えを問う。



予算の概要

委員会審査

討 論

採決結果

代表質問

一般質問

定例会予定

議会報告会

議会学習会

議会PR

令和7年3月7日、10日に本会議を開き、18人が一般質問を行いました。
質問事項は次のとおりです。

一般質問

一般
質問

自民党鶴岡クラブ 議員団
谷川 眞司



Q 浪速橋の復旧工事の
進捗状況は

A 令和7年度は
補修工事の設計を実施



質問 浪速橋は、市道八島通り線と交差する祖母谷川に架かる橋で、昭和33年に架設され、昭和47年には交通安全対策として歩道橋が設置された。しかし、令和3年度に実施した調査により、この歩道橋に大きな損傷があることが判明し、令和3年9月から通行止めとなっている。浪速橋は、東舞鶴高等学校や白系中学校の通学路となっており、登下校時には多くの学生が利用することから、早急な対応を求める。復旧の進捗状況について問う。



通行止めが続く浪速橋歩道部

替えも含めたさまざまな検討が必要であることから、舞鶴工業高等学校の橋梁の専門家をはじめ、設計会社や橋梁メーカーからも意見をいただき、その結果、架け替えではなく、費用的にも有利でかつ早期に復旧可能な補修方法について、技術的にも可能であるとの判断に至ったことから、令和7年度は補修工事のための設計を実施する。

一般
質問

日本共産党議員団
伊田 悦子



Q 小学校給食費無償化歓迎
安定財源確保は

A 計画的かつ安定的な
財源確保に努める



誰もが輝き安心して暮らせるまちづくりを

質問 中学校給食費無償化は、保護者から多くの喜びの声を聞く。日本共産党は、義務教育を無償と定める憲法に基づき、給食費の無償化のために奮闘してきた。令和7年度の小学校給食費の無償化は、安定財源を確保した上での実施と理解するが、本市の見解を問う。

答弁 一般財源に加え、ふるさと応援寄附金と特定防衛施設周辺整備調整交付金等の基金造成により、計画的かつ安定的な財源を確保すること、将来にわたって持続可能な事業とする覚悟である。

質問 パートナシップ制度の創設は、会派として提案し一貫して求めてきた。令和7年度創設に向け一歩が進められ、その決断を評価し、歓迎する。そこで、今後の市民への啓発について問う。

答弁 制度は対象となる人だけではなく、多様性を認め合う社会づくりにつながり、社会全体の幸せや活力になると考える。今後多様性に関する正しい知識を広め、理解を深める取り組みを進める。

一般
質問

超党・市民ファースト議員団
廣瀬 昇



Q 基本合意書を
締結した理由は

A 最適な医療提供体制の
形態を見出したい



持続可能な地域医療

質問 令和6年度設置された舞鶴市医療機能最適化検討会議だけの議論ではなく、12月に東西2会場で実施された市民との意見交換会や、各公的病院職員向けの説明会での意見はどのようなものだったのか。公的4病院と「持続可能な医療提供体制の実現に向けた協議開始に係る基本合意書」を2月21日に締結した理由について問う。

答弁 市民から医療提供体制の見直しや、公的病院職員からは早急な対応を求める声が多かった。令和6年度設置された舞鶴市医療機能最適化検討会議だけの議論ではなく、12月に東西2会場で実施された市民との意見交換会や、各公的病院職員向けの説明会での意見はどのようなものだったのか。公的4病院と「持続可能な医療提供体制の実現に向けた協議開始に係る基本合意書」を2月21日に締結した理由について問う。

質問 認識している交通課題を解決し、高齢者の移動手段の確保に向け、どのような施策を検討しているのか。

答弁 高齢者が利用しやすい新たな交通手段の研究・検討を進め、公共交通の維持・確保に取り組む。

Q 高齢者移動手段の
確保策は

A 新たな手段を
研究検討する

令和7年3月7日、10日に本会議を開き、18人が一般質問を行いました。
質問事項は次のとおりです。

一般質問

予算の概要

委員会審査

討論

採決結果

代表質問

一般質問

定例会予定

議会報告会

議会学習会

議会PR

一般質問

公明党議員団

松田 弘幸



Q

車両と縁石の接触事故の
防止対策を

A

接触防止を促す
常設の表示をする



質問 市役所前駐車場は、駐車スペースも増え、路線バスも乗り入れされ便利になった。しかし、一方通行の逆走や駐車の際に縁石ブロックに車両が接触する事案が多発している。市として、抜本的な対策が必要ではないか。

答弁 一方通行の逆走や縁石ブロックへの接触などを防止するため、視覚的に確認できる常設の表示をするなど、景観に配慮しつつ引き続き安全に利用できるように対策を講じる。

一般質問

新政クラブ議員団

眞下 弘明



Q

引揚見送りの松と
本市の関わり方は

A

まちぐるみで貴重な
歴史をつないでいく



質問 昭和20年10月7日の引揚第一船「雲仙丸」の入港をはじめとして、翌年7月までは引き揚げの中心は西舞鶴であり、多くの引揚者を見送ってきた引揚列車見送りの松は80年の年月を経て10メートルの高さに成長している。この歴史ある松は、ボランティアをはじめ、有志の方々の手で剪定や看板設置も行っているが、認知度も情報量も少ない。今後の引揚列車見送りの松とボランティアや有志の方と本市の関わり方について、見解を問う。

答弁 令和7年は戦後、引揚開始80年



車が接触する危険のある縁石ブロック

また、京都府のクロマグロとしてのネーミングも重要ではないか。

答弁 生産者、漁協、流通組合等が協力し、市内に小型マグロを提携できる仕組みやメニュー、冷凍品の開発等を行い普及させる。ネーミングは非常に重要な訴求要素で、国内を代表する京都府産マグロにふさわしい名前にしたいと考えている。

クロマグロのブランド化を

市内提供
知名度UPを図る

質問 水産業の振興について、新たなブランド魚として、近年、漁獲が増加し、近畿随一の漁獲量を誇る「クロマグロ」の普及をどのように進めるのか。

答弁 生産者、漁協、流通組合等が協力し、市内に小型マグロを提携できる仕組みやメニュー、冷凍品の開発等を行い普及させる。ネーミングは非常に重要な訴求要素で、国内を代表する京都府産マグロにふさわしい名前にしたいと考えている。



西舞鶴駅前の引揚列車見送りの松

という歴史の節目を迎える。引揚列車見送りの松や引き揚げにまつわる歴史などをボランティアや引揚の史実に思いを寄せていただく皆さまとともに広く発信していきたいと考えている。今後も語り部や平和祈念式典での献茶・献花、引揚棧橋等の清掃活動、引揚列車見送りの松の維持管理など、多くの皆さまの思い、お力添えのもと、まちぐるみで貴重な歴史をつないでいく考えである。

一般質問

自民党鶴岡クラブ議員団

上野 修身



Q

学校給食費
無償化の目的は

A

保護者負担の軽減と
子育て環境の整備



質問 学校給食費無償化は、令和5年9月の時点で、1784自治体のうち、547自治体において、小・中学校の児童生徒を対象とした完全無償化を実施している。「義務教育は無償」という憲法の定めにも照らしても、自治体の財政力格差の観点からも、無償化を地方自治体の予算に任せるのではなく、国の支出で全国一律に無償化を図るべきと考える。そこで、本市における学校給食費無償化事業の目的は何であるのか。その見解を問う。

を楽しく食べながら、望ましい食生活の基礎を知り、健康の保持増進につながることであり、全児童生徒を対象としている。令和6年度2学期から中学校給食費の無償化を実施しているが、学校給食費の無償化は、子どもの健やかな成長を社会で支える環境の充実を図るものであり、子育て世帯の負担軽減や子育てしやすい環境を整えるものである。



栄養バランスの取れた学校給食の無償化を

答弁 学校給食の目標は、成長期にある児童生徒が栄養バランスのとれた給食

令和7年3月7日、10日に本会議を開き、18人が一般質問を行いました。
質問事項は次のとおりです。

一般質問



暮らし・福祉・教育最優先の
財政運営に

質問 令和6年度補正予算の福祉施設に対する物価高騰対策支援事業給付金や、令和7年度予算の全世帯・全民間事業所の水道基本料金の二カ月分減免などがある一方、赤れんが周辺開発など大型の事業が継続されている。本市の財政運営を暮らしや福祉、教育最優先に切り替えるべきでは。

答弁 令和7年度予算では、暮らし、福祉、教育優先のさまざまな施策を編成した。限られた財源で、ハード・

ソフト両面でバランスのとれた効果的な予算編成が重要と考える。

Q 7年度国保料は据え置きを
A 基金投入で12%増に抑えた

質問 京都府は、市町村が府に支払う納付金を令和6年度から2年連続で大幅に増額した。このことから、本市の国保料も鴨田市長になって2年連続の値上げとなるが、令和7年度は据え置くべきでは。

答弁 令和7年度の保険料は、39・3%を引き上げるところ基金約2億5800万円を投入し、12%増に抑えた。今後3年間で段階的に引き上げ、本来必要な保険料となるよう基金活用計画を策定した。

一般
質問

日本共産党議員団
小西洋一



Q 市の財政運営を暮らし・福祉を最優先にバランスとれた効果的な予算編成が重要



一般
質問

超党・市民・アースト議員団
福本明日香



Q 大雪の登下校時の安心対策は
A 小・中学校長会と協議し進めている



歩くのに支障をきたす
大雪時の積雪量

質問 大雪での判断基準では、市内一律の休校が難しい理由があるのかもしれないが、近隣で本市だけが積雪が多いのにも関わらず学校へ行ったことは、市内外からも疑問の意見があった。保護者や子どもが安心して登下校できる仕組みづくりについての見解を問う。

答弁 これまでは、地域によって積雪量等が異なるため、地域性によって校長が判断するとしていたが、昨今、集中的な降雪の状況を

鑑み、暴風雪警報または大雪警報が発表された場合の臨時休校について、現在、小・中学校長会と協議し基準の見直しを進めている。

Q 産後指導士などの活用は
A 多様な方に関わってもらう

質問 産後ケア事業の実施が義務化されてきた中、産後指導士の活用は本市にも有効であると考える。産後指導士など、産後支援の関わりについて本市の見解を問う。

答弁 産前産後の取り組みは、地域の活動団体や多様な支援者にも協力いただき、産後指導士を含め、さまざまな方に関わっていただくこととしている。

一般
質問

公明党議員団
杉島久敏



Q 災害に備えた生活用水の確保は耐震化率の向上や緊急時の体制を整える



質問 甚大な被害の場合、支援やライフラインの復旧に必要な以上の時間を要することが想定され、避難生活の長期化もあり得る。現状下においては、ライフラインを守るため、災害に備えた取り組みや仮に断水が生じたとしても、早期復旧に努めていただくことが大変重要になってくる。本市として、普段どのような取り組みをされているのか。仮に断水となった場合、どのような考えで早期復旧に向けて進められることになるのかを問う。

答弁 本市では、安全で安心した水道水を供給できるよう、配水管整備計画に基づき100年間の耐久性・耐



老朽水道管布設替え工事の様子

震性のある管路を積極的に採用し、年間約5キロの耐震化事業を実施している。また、水道管や施設が破損し断水が生じた場合は、迅速に復旧できるあらゆる方法を検討し、市民生活に支障が生じないように努めるとともに、水道関連事業者との緊急時出動体制や水道協会の給水支援体制を維持し、早期復旧を図る。

令和7年3月7日、10日に本会議を開き、18人が一般質問を行いました。
質問事項は次のとおりです。

一般質問

一般質問

新設クラブ議員団

野瀬 貴則



Q 小学校体育館空調
災害に強いガス方式を
利用形態に適した
方式を決定する

A



質問 中学校体育館

エアコンの総馬力は定
格出力で24馬力である。
市民の利用料金は、供
用開始までにお知らせ
する。また、GHP方
式のエアコンについて
は、避難所機能の向上
を図る有効なエアコン
方式であると認識して
おり、小学校体育館へ
の導入について検討す
る際には、総合的に比
較・検討を行い、各学
校の利用形態に適した
空調設備方式を決定し
ていく。

一般質問

自民党鶴岡クラブ議員団

水嶋 一明



Q 第2次舞鶴市
健康増進計画の推進は
一人ひとりの行動変容を
促すことが重要

A



質問 市民の健康寿

命の延伸を目指され、
健康づくりの取り組み
を推進されていける
が、このような取り組
みは10年20年後にやっ
と実となり成果が出て
くる大変な取り組みで
ある。また、一年間で
はあるが「第2次舞鶴
市健康増進計画」に基
づき、実施された施策
の進捗状況や成果、課
題等について問う。ま
た、これまでの取り組
みを踏まえ「第2次舞
鶴市健康増進計
画」を今後どのよ
うに推進されてい
くのか、本市の見
解を問う。

答弁 生活習慣

の改善は、若い世
代からの継続した
取り組みが重要で



健康寿命の延伸を目指す
健康セミナーを開催

一般質問

超党・市民ファースト議員団

高橋 秀策



Q 国の公共工事
市内業者の受注機会は
受注機会の確保に向け
国へ強く要望する

A



質問 災害や除雪対

応、有事の際の備えに
おいても建設業界は大
切である。健全経営で
地域経済の活性化につ
なげていただきたいと
強く思う。国道27号西
舞鶴道路での市内業者
の関わりや、臨港道路
上安久線の山を切り拓
く工事では、十分工事
に参入できるものと考
える。また、防衛省に
おかれては、海上自衛
隊の岸壁や庁舎等の工
事が始まるように
聞いている。この
工事でも地元発注を
望むものであるが、
本市の見解を問う。

答弁 国土交通

省では、工事の発
注にあたり、災害
発生時に迅速に活
動できる地元企業



完成が期待される公共工事

令和7年3月7日、10日に本会議を開き、18人が一般質問を行いました。
質問事項は次のとおりです。

一般質問



利用しやすいサービスを目指す
市民窓口

質問 自治体DXの推進は、デジタル技術を活用した業務改善の戦略を策定し、全庁的な変革を促進することが必要であり、組織改革も重要な課題である。行政窓口での申請書類を「書かない窓口」として、窓口に行かなくても申請ができる「行かない窓口」への移行を目指し、市民と行政双方の利便性向上を図る取り組みを積極的に

一般質問
公明党議員団
小谷 繁雄

Q 自治体DXの積極的な取り組みをデジタル技術活用で市民サービスを充実

A



進め、効率的で市民にとって利用しやすい行政サービスの実現を目指した本市の取り組みを問う。

答弁 令和6年4月のアクションプラン策定後も書類確認の複雑さや対面審査、紙面で通知が求められるケースなど、オンライン申請への移行が進みにくい課題がある。令和6年4月、政策推進部にデジタル推進室と改革推進課を配置し、全庁的かつ積極的にデジタル改革に取り組んでいる。今後も窓口等での利便性の向上と業務改革を図り、デジタル技術を積極的に活用した施策の展開・市民サービスの充実に取り組む。

一般質問
新政クラブ議員団
眞下 隆史

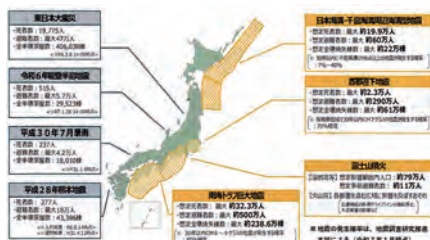
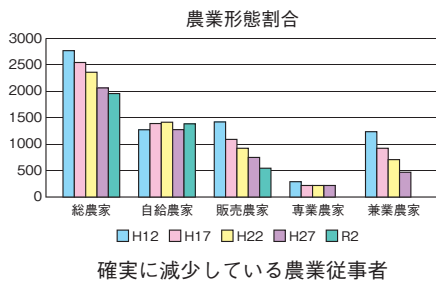
Q 農地課題に対し市が全面的に関与すべき

A 中間管理機構事務を今後は市が担う



質問 中山間地が占める本市の土地柄、農業従事者にとっては大規模営農が難しく、兼業・自給農家にとっては農地を保有すること自体が負担になり、現在、耕作放棄地が増加し大きな課題となっている。課題解決に向けて市が実施している「地域計画」では、地域で協議し借り手にとって農業がしやすい農地を集約し、信頼できる身近な農業従事者に維持してもらおう。それでも困難な場合は「農地バンク」に登録することが有効と考えるが、市の見解を問う。

答弁 農地中間管理機構「農地バンク」は、以前は公募により農地貸付を行っていたが、令和7年4月から市町村に委託されることになった。地域計画の策定により、営農が困難な農地や経営の拡大を希望する耕作者を把握できるようにしたことで、貸したい農地と借りたい農業者のマッチングをする必要があると考えている。具体的な実施方法をよく検討し、今後、市がその業務を担っていく。



質問 日本海側の拠点になる本市は、大規模災害が起こったときの重要な基地になるのは明白である。災害の現場に必要なものは物資と医療関係者であるが、本市には災害専門の艦船も医療関係者もない。そこで提案として、防衛省でも保安庁でもよいが、病院船を建造し、ここ舞鶴に配備していただき、災害発生時には即応していただきたい。そのためには、本市で誘致をする必要があるが、この提言について、本市の見解を問う。

答弁 令和6年6月、病院船推進法が施行された。これは災害時や感染症の発生・まん延やその恐れがあるときに備え、船舶を活用した医療提供体制の整備を推進することを目的として、大規模災害時に特に陸路が途絶された地域や離島に対して、陸上医療機関を補完することが、期待される。本市としては、国の動向を注視するとともに、本市が有する特性を踏まえ、必要に応じた対応を行っていきたいと考えている。

一般質問
自民党鶴岡市議員団
南 正弘

Q 災害時に備え病院船の誘致が必要では

A 国の動向を注視し必要な対応を行う



令和7年3月7日、10日に本会議を開き、18人が一般質問を行いました。質問事項は次のとおりです。

一般質問
定例会の予定・議会傍聴

歳入歳出予算事項別明細書

(単位：千円)

款	令和7年度予算額	令和6年度予算額	比較増減
20 寄附金	512,458	536,559	△ 24,101
21 繰入金	1,784,706	1,144,173	640,533
22 繰越金	1	1	0
23 諸収入	800,936	721,136	79,800
24 市債	4,215,900	1,964,400	2,251,500
歳入合計	40,490,920	36,169,180	4,321,740

令和7年度舞鶴市一般会計予算説明書より抜粋

令和7年度の予算案 大きな市債の発行

質問 本市は人口枯渇時代を迎え、2045年には統計で約5万5千人と想定されており、歳入見通しは大変厳しくなる。一方、令和7年度は多額の市債を起債する予算編成であることから、歳出の拡大も避けられそうにない。西消防署の建設、図書館の再編、さらには、病院再編に係る新病院の建設も多額の歳

出が見込まれるのではないかと。改めて、今後の歳入見込額の推移と歳出見込額の推移について、市はどのように見通しているのか。

答弁 歳出については、福祉や医療、介護等の社会保障関係施策の充実による義務的、経常的経費の増加に加え、社会基盤や公共施設等の長寿命化対策、さらには、近年の物価高騰対策や人手不足に伴う処遇改善対策などの影響により、今後も財政需要は大きく拡大すると見込んでいる。また、令和7年度予算における市債発行額は、令和6年度当初予算と比較し、22億5150万円の増額となっている。

質問 令和2年度の東西循環線利用者数は25万5213人と多い。その主な要因は東西の駅や公的4病院、スーパーなどの沿線の商業施設、行政機関などの集積と考える。府北部連携都市圏では、路線バスの利用上限を200円に設定したことで、利用者が1・4倍に増加した。東西循環線で料金均一制度の実証実験を実施し、その効果を確認した上で他の路線も取り組んでどうか。まずは乗ってみていと感じるサービスの提供を行い、実証実験を実施してはと考えるが、本市の見解を問う。

答弁 東西循環線をはじめ市内バス路線を採用されている距離制



西舞鶴駅からの東西循環線バス

運賃は、受益者負担の原則のもと、利用者間の公平性を確保するとともに、運行コストを反映した運賃収入を得ることで、適正な路線運営を行っていただいているものであり、市としても、引き続き、バス事業者をしっかりと支援し、積極的な利用促進に取り組むことで、路線の維持・確保に努めていく。

一般質問

Q 今後の財政状況の見通しは

A 昨年度に比較して22億円以上の市債発行

新政クラブ議員団

山本治兵衛



一般質問

Q 路線バスでの料金均一制度の実証実験は

A 積極的な利用促進で維持・確保に努める

自民党鶴岡市議員団

尾関善之



6月定例会予定

6月

- 2日(月) 本会議(開会・提案説明)
 - 9日(月) 請願受理締切
 - 12日(木) 本会議(一般質問)
 - 13日(金) 本会議(一般質問)
 - 16日(月) 本会議(一般質問、議案質疑)
 - 18日(水) 予算決算委員会分科会・常任委員会
 - 19日(木) 予算決算委員会分科会・常任委員会
 - 24日(火) 予算決算委員会
 - 30日(月) 本会議
- (委員長報告・質疑・討論・採決・閉会)

※予定は変更することがあります。

議会を傍聴
してみませんか本会議や委員会等はどなたでも
傍聴することができます。

詳しいお問い合わせは市議会事務局へ ☎66-1060

手話通訳者・要約筆記者を配置できます

聴覚等に障害のある方が本会議等を傍聴される場合は、事前予約により、手話通訳者・要約筆記者を配置します。

ご希望の方は、傍聴予定日の7日前の午後5時までに「手話通訳・要約筆記申込書」に必要事項を記入の上、窓口へ持参、またはFAX、郵送によりご提出ください。

なお、日程の都合などにより、手話通訳者・要約筆記者が配置できない場合がありますのでご了承の上、お早めにご相談ください。



詳しくはホームページをご覧ください。

舞鶴市議会

検索



議会報告会を開催 舞鶴市議会の情報発信 ～ YouTube と Facebook ～

議会報告会を開催しました

舞鶴市議会基本条例の理念に基づいて、議会活動に関する説明責任を果たすとともに、市民の皆さまの多様な意見を的確に把握する機会として、「まちづくりの主役である市民の皆さま」と「住民自治の根幹である市議会」が一緒に舞鶴市の将来（よりよいまちづくり）について考え、市政に反映させるため、「議会報告会」を開催することとしました。

その第1回目として、令和7年4月8日に、以下の内容で開催しました。

- 1 開会挨拶と趣旨説明（議長）
- 2 当日の内容と進め方の説明（副議長）
- 3 舞鶴市の現状と議会の取組の説明（議長）
- 4 3月定例会の概要説明（議会運営委員会委員長）
- 5 3および4に関する質疑応答（参加者⇨議員）
- 6 舞鶴市の将来に向けた意見交換（参加者⇨議員）



「舞鶴市の将来に向けた意見交換」では、限られた時間ではありましたが、防災や子どもたちの健全育成などに地域コミュニティが果たす役割の重要性を中心に参加者の皆さまから意見が出され、議員も自身の思いを述べるなど、貴重な意見交換の場となりました。

参加者の皆さまのアンケートでは、「市の状況や議会の役割などが理解できた」「意見交換の場があるのが良かった」「今後も継続してほしい」など、開催した意義があったと感じられるご意見をいただきました。

議会報告会の内容とアンケートの結果は、ホームページに掲載していますので、ご覧ください。

今回の議会報告会は、改善・工夫を重ねて7月開催を予定しております。
舞鶴市議会のホームページやフェイスブックなどでお知らせしますので、ぜひご参加ください。



報告書は、こちらのQRコードからご覧ください。

舞鶴市議会の情報発信 ～ YouTube と Facebook ～

舞鶴市議会 公式YouTubeチャンネル

舞鶴市議会では、議会の「見える化」を図る方法の1つとして、「舞鶴市議会公式YouTubeチャンネル」を開設しています。

本会議や委員会のライブ配信・録画配信に加えて、定例会の概要報告や委員会の活動報告など、舞鶴市議会がどのような活動をしているかをご理解いただくための動画を配信していますので、是非ご覧ください。

チャンネル登録を
よろしくお願いします。



舞鶴市議会 公式Facebook

「市民に開かれた議会」に向けた取り組みとして、市議会公式Facebookにて、議会活動に関する様々な情報を随時発信していますので、是非ご覧ください。

チャンネル登録や「いいね！」もお願いします。

舞鶴市議会
YouTube



舞鶴市議会
Facebook



舞鶴市議会
ホームページ



小学校5校の「議会学習会」を開催しました

舞鶴市議会では、議会に対する理解を促進し、より身近に感じていただくことを目的に、小・中学校の児童生徒や高校の学生が議会の機能や役割などについて学ぶ機会を提供しています。

令和7年1月には、市内の小学校5校の議会学習会を6回に分けて開催しました。

この取り組みを通じて、将来、ふるさと舞鶴のために積極的に関わり、頑張りたいと思う人が多くなることを期待しています。

議会学習会の開催日程

学校名	学年・参加人数	開催日時
岡田小学校 由良川小学校	6年生 12人	1月21日(火) 13:50～15:10
中筋小学校	6年1組 28人	1月22日(水) 9:30～11:00
	6年2組 26人	1月22日(水) 14:00～15:30
	6年3組 26人	1月24日(金) 9:30～11:00
	6年4組 29人	1月24日(金) 14:00～15:30
池内小学校 高野小学校	6年生 29人	1月27日(月) 9:30～11:15

議会学習会の主な流れ

1 諸報告

議会の仕組みなどについて議長から説明

2 会議録署名議員の指名

後日作成する議会学習会の記録に署名する議員(児童)2人を指名

3 会期の決定

議会学習会の時間を簡易採決により議決

4 議長選挙

投票により議員(児童)の中から議長を選出

5 議案の審査

提案者の市長又は議員(いずれも児童)が議案の内容を説明し、賛成の立場、反対の立場から、それぞれ討論を行ったあと、押しボタン式投票による採決で議決



岡田小学校・由良川小学校 6年生



中筋小学校 6年1組



中筋小学校 6年2組



中筋小学校 6年3組



中筋小学校 6年4組



池内小学校・高野小学校 6年生

- 議会学習会内容は、各学校の意向を踏まえて柔軟に対応していますので、議会学習会に興味のある学校関係者の方は、舞鶴市議会事務局(0773-66-1060(直通))までご相談ください。